



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月8日

上場会社名 株式会社リグア 上場取引所 東
 コード番号 7090 URL <https://ligua.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大浦 徹也 TEL 06 (7777) 0159
 四半期報告書提出予定日 2022年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	2,529	33.5	195	△8.8	188	△9.5	96	△28.2
2021年3月期第3四半期	1,894	24.0	214	69.1	208	65.9	134	61.4

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 96百万円 (△28.2%) 2021年3月期第3四半期 134百万円 (61.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	69.09	67.47
2021年3月期第3四半期	99.88	95.00

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	3,139	1,171	37.3
2021年3月期	3,318	1,058	31.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,171百万円 2021年3月期 1,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期（予想）				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,230	20.2	289	17.2	280	16.5	180	14.7	129.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年3月期3Q	1,408,000株	2021年3月期	1,391,100株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	114株	2021年3月期	51株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年3月期3Q	1,400,049株	2021年3月期3Q	1,349,587株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内容の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から決算説明会の開催を中止いたしますが、代表取締役社長による決算説明の動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における国内外の市場環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行が続いております。コロナワクチンの普及に伴い、徐々に経済活動が回復に向かいましたが、オミクロン株の新たな出現により、新型コロナウイルス感染症拡大に予断を許さない状態が続いております。また、中国の不動産バブルの崩壊や、米国の金融緩和政策によるインフレーションの進行が懸念されるなど、新型コロナウイルス感染症の影響のみならず、依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが主要市場とする接骨院業界におきましては、接骨院数の増加に伴う他院との差別化、柔道整復療養費の減少に伴う経営の悪化、新規出店に伴う資金及び人員（有資格者）の確保、人員の増加に伴う教育制度の構築、接骨院オーナーの老後資金の確保等、様々な経営課題が発生しております。

このような状況の中、当社グループの接骨院ソリューション事業では、接骨院に対して経営・運営における様々な問題（売上の減少、資金難、経営戦略不全、教育制度の未整備等）に対するソリューションの提供を行ってまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言下では対面での営業活動は自粛し、オンライン営業やWebセミナーを開催すること等で、新規・既存顧客への対応を行ってまいりました。また、血行促進による疲労回復・筋肉の疲れやこりの緩和等の使用効果が期待できるヘルスケアブランド「Dr. Supporter」の販売を2021年6月より開始し、多くの方々に使用効果を体感していただくためのサンプリングや商品認知度を高めるための広告施策及び営業人員の積極的採用のほか、主要ソフトウェア「レセONE」の機能追加による減価償却費を計上したこと等で売上原価、販売費及び一般管理費がそれぞれ増加しました。

金融サービス事業でも緊急事態宣言下では営業活動は制限されましたが、オンライン営業や電話対応により、顧客への丁寧な対応を行ってまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は売上高2,529,169千円（前年同期比33.5%増）、営業利益195,653千円（前年同期比8.8%減）、経常利益188,941千円（前年同期比9.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益96,740千円（前年同期比28.2%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<接骨院ソリューション事業>

ソフトウェアでは、接骨院向け患者情報管理システム「Ligoo POS & CRM」とレセプト計算システム「レセONE」の機能を併せ持った「レセONEプラス」を積極的に販売しましたが、大型案件の受注があった前年同期に比べて減収となり、売上高は317,472千円（前年同期比26.5%減）となりました。

機材・消耗品では、接骨院での自費施術メニューの拡大をサポートする為のツールである機材や当社のコンサルティングノウハウを集約した接骨院向けの運営教材等の販売を行いました。また、2021年6月より

「Dr. Supporter」を販売した結果、売上高は926,139千円（前年同期比86.3%増）となりました。

教育研修コンサルティングでは、接骨院における新規利用者のWeb集客を目的としたWebコンサルティング及び各顧客の需要に合わせた継続型のコンサルティングを行いました。また、接骨院の幹部または幹部候補者等向けの研修プログラム「GRAND SLAM」や経営者向けの「経営実践塾」等を展開したこと等により、売上高は400,073千円（前年同期比124.9%増）となりました。

請求代行では、接骨院等における事務負担の軽減を目的とした療養費請求代行サービスを展開した結果、売上高は194,154千円（前年同期比10.5%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,837,838千円（前年同期比43.3%増）、営業利益は181,582千円（前年同期比4.9%増）となりました。

<金融サービス事業>

保険代理店では、オンライン営業にて募集行為を行ったほか、接骨院ソリューション事業において構築された接骨院ネットワーク及び提携先からの紹介先に対し、生命保険及び損害保険の販売を行った結果、売上高は300,649千円（前年同期比7.0%増）となりました。

IFA(金融商品仲介業)では、株式や投資信託等の金融商品を用いて、長期的で安定的な資産形成や資産運用を目的にサービスを展開しております。オンライン営業や電話対応により、顧客への丁寧な対応を行ったことで、口座数と預かり資産が大幅に増加しました。また、外部委託先である委託IFAの増加に伴い、販売手数料や信託報酬が増加したこと等により、売上高は387,330千円(前年同期比17.6%増)となりましたが、売上原価である委託IFAへの業務委託料も増加しました。

その他では、一般事業会社の財務コンサルティングを受託したことにより、売上高は3,350千円(前年同期比179.2%増)となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は691,330千円(前年同期比13.0%増)、営業利益は14,071千円(前年同期比66.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は3,139,901千円となり、前連結会計年度末と比べ178,672千円の減少となりました。

流動資産は2,156,551千円となり、前連結会計年度末と比べ260,890千円の減少となりました。これは主に、売掛金が96,362千円、商品が119,778千円、流動資産その他が152,475千円増加したものの、現金及び預金が629,660千円減少したことによるものであります。

固定資産は983,350千円となり、前連結会計年度末と比べ82,217千円の増加となりました。これは主に、本勘定振替によりソフトウェア仮勘定が414,184千円減少したものの、ソフトウェアが522,637千円増加したことによるものであります。

②負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は1,968,871千円となり、前連結会計年度末と比べ291,042千円の減少となりました。

流動負債は1,017,722千円となり、前連結会計年度末と比べ4,333千円の増加となりました。これは主に1年以内返済予定の長期借入金が32,826千円、未払金が60,310千円減少したものの、預り金が105,952千円増加したことによるものであります。

固定負債は951,148千円となり、前連結会計年度末と比べ295,376千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が295,497千円減少したことによるものであります。

③純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,171,030千円となり、前連結会計年度末と比べ112,369千円の増加となりました。これは主に、新株予約権の行使による払込み等により資本金及び資本剰余金がそれぞれ7,919千円増加したこと及び親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことにより、利益剰余金が96,740千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2022年3月期中は、新型コロナウイルス感染症等の影響により、国内外の経済は依然として厳しい状況が続くことが見込んでおります。当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の収束時期は見通しが立たず、依然として不透明な事業環境が継続すると見込んでおります。なお、当第3四半期連結累計期間までは当初策定した業績予想の範囲内であるため、現時点では2021年5月11日の「2021年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,926,154	1,296,494
売掛金	327,045	423,407
商品	76,302	196,080
その他	88,094	240,569
貸倒引当金	△154	—
流動資産合計	2,417,441	2,156,551
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	77,505	82,119
減価償却累計額	△22,824	△27,043
建物附属設備(純額)	54,680	55,076
車両運搬具	14,472	18,161
減価償却累計額	△12,791	△15,237
車両運搬具(純額)	1,681	2,923
工具、器具及び備品	66,417	82,456
減価償却累計額	△34,975	△41,730
工具、器具及び備品(純額)	31,441	40,725
建設仮勘定	15,827	11,404
有形固定資産合計	103,630	110,129
無形固定資産		
ソフトウェア	151,949	674,586
ソフトウェア仮勘定	504,358	90,173
顧客関連資産	25,333	19,633
のれん	36,342	29,820
その他	291	374
無形固定資産合計	718,273	814,589
投資その他の資産		
繰延税金資産	16,797	12,944
その他	65,742	48,828
貸倒引当金	△3,311	△3,141
投資その他の資産合計	79,228	58,631
固定資産合計	901,132	983,350
資産合計	3,318,574	3,139,901

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,838	26,177
1年内返済予定の長期借入金	441,376	408,550
未払金	174,801	114,490
未払費用	66,198	80,999
未払法人税等	58,788	32,422
未払消費税等	21,850	39,539
前受金	8,882	1,841
預り金	168,183	274,135
賞与引当金	32,414	30,825
和解費用引当金	—	6,857
その他	54	1,882
流動負債合計	1,013,388	1,017,722
固定負債		
長期借入金	1,229,522	934,025
資産除去債務	16,487	16,535
繰延税金負債	515	588
固定負債合計	1,246,524	951,148
負債合計	2,259,913	1,968,871
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,150	472,069
資本剰余金	383,118	391,037
利益剰余金	211,616	308,357
自己株式	△224	△433
株主資本合計	1,058,661	1,171,030
純資産合計	1,058,661	1,171,030
負債純資産合計	3,318,574	3,139,901

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	1,894,172	2,529,169
売上原価	848,843	1,231,735
売上総利益	1,045,328	1,297,434
販売費及び一般管理費	830,855	1,101,780
営業利益	214,473	195,653
営業外収益		
受取利息	32	7
受取賃貸料	553	553
保険解約返戻金	249	—
助成金収入	141	2,272
その他	1	35
営業外収益合計	978	2,868
営業外費用		
支払利息	6,697	7,513
株式報酬費用消滅損	—	2,031
その他	32	36
営業外費用合計	6,730	9,581
経常利益	208,721	188,941
特別損失		
固定資産除却損	—	1,125
和解費用	—	31,171
特別損失合計	—	32,296
税金等調整前四半期純利益	208,721	156,644
法人税、住民税及び事業税	55,399	55,978
法人税等調整額	18,520	3,925
法人税等合計	73,920	59,903
四半期純利益	134,800	96,740
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,800	96,740

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	134,800	96,740
四半期包括利益	134,800	96,740
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	134,800	96,740
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額
	接骨院ソリューション事業	金融サービス事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,282,572	611,599	1,894,172	1,894,172
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,282,572	611,599	1,894,172	1,894,172
セグメント利益	173,093	41,379	214,473	214,473

(注) セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	接骨院ソリューション事業	金融サービス事業	計	
売上高				
ソフトウェア	316,192	—	316,192	316,192
機材・消耗品	793,759	—	793,759	793,759
教育研修 コンサルティング	400,073	—	400,073	400,073
請求代行	194,154	—	194,154	194,154
保険代理店	—	300,649	300,649	300,649
IFA (金融商品仲介業)	—	387,330	387,330	387,330
その他	—	3,350	3,350	3,350
顧客との契約から生じ る収益	1,704,179	691,330	2,395,510	2,395,510
その他の収益 (注) 1	133,659	—	133,659	133,659
外部顧客への売上高	1,837,838	691,330	2,529,169	2,529,169
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,837,838	691,330	2,529,169	2,529,169
セグメント利益	181,582	14,071	195,653	195,653

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア売上、機材・消耗品売上のリース取引によるものです。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

会計方針の変更に記載の通り、第1四半期連結会計期間の期首より収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理の方法を変更したため、事業セグメントの利益又は損失の測定方法を同様に變更しております。なお、この変更による影響はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2022年1月18日開催の取締役会において、日本ソフトウェア販売株式会社の全株式を取得して子会社化することを決議し、2022年1月25日付で株式譲渡契約を締結しました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 日本ソフトウェア販売株式会社
事業内容 接骨院向けレセプト計算システムの販売等

(2) 企業結合を行った主な理由

日本ソフトウェア販売株式会社は、接骨院業界における40年以上の経営によって蓄積された業界知見やシステム保守に関する運営ノウハウに強みを持ち、現時点で800院以上の接骨院が同社のレセプト計算システムを使用しております。さらに、請求代行業業では取引関係もあるため、当社グループとの親和性が非常に高いと考えております。このたびの株式取得により、当社グループと取引のなかった接骨院が新たに顧客に加わり、当社グループが強みとする接骨院向けのワンストップサービスの提供および顧客との長期的な関係性の構築、事業シナジー等の様々なプラス効果が期待できるため、今後の当社グループの新たなビジネスチャンスに繋がるものと考えております。上記のとおり、本件が当社グループにとって今後の成長に資するものと判断したことから、同社の全株式を取得し、子会社化することといたしました。

(3) 企業結合日

2022年2月10日(予定)
2022年1月1日(みなし取得日)

(4) 企業結合の法的形式

現金による株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

対価の種類が現金であるため、当該現金を交付する当社を取得企業としております。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	280百万円
取得原価		280百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 3百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定していません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額及びその主な内訳

現時点では確定していません。